

日本薬学会 第125年会 ランチョンセミナー

■ 日時 平成17年3月31日(木) 12:30~13:30

■ 場所 東京ビッグサイト 6階 (F会場)

<サプリメントと薬の相互作用 ②> ~サプリメントの適正使用を目指して~

座長

山田安彦先生

東京薬科大学薬学部 教授

現在、サプリメントを摂取する人は急激に増加しており、それに伴って、サプリメントと医薬品を併用する機会も増加している。併用による相互作用が、時には臨床上大きな問題となることもあるため、薬剤師はしっかりとした情報提供を行うことが求められる。

本講演では、「サプリメントと薬の相互作用」と題して、サプリメントの適正な選択方法や医薬品と併用する際の注意点について、サプリメントに造詣の深い先生方よりお話を頂く。

京都薬科大学 病院薬学教室 助教授 大西 憲明先生

近年、相補・代替医療やセルフメディケーションの普及に伴い、サプリメントをはじめとする健康食品の需要は世界的に高まっており、その種類や消費量も爆発的に増加している。そのため、医薬品とともにそれらのサプリメントが併用されているケースも少なくないと推測される。すなわち、グレープフルーツジュース(GFJ)、セント・ジョーンズ・ワート(SJW)等とある種の医薬品を併用した際に発現するような、臨床上大きな問題となる相互作用が今後多発することも十分予想される。

したがって、薬剤師、栄養士等が、これらの相互作用についての理解を深め、消費者へサプリメントの適正使用のために必要な相互作用情報を適切に提供することは、サプリメントの更なる有効利用を促進し、かつ、健康被害を未然に防止する上で、極めて重要である。

そこで、本ランチョンセミナーでは、まず、サプリメントを含む健康食品の定義及び分類、近況等を概説する。

次に、サプリメントによる相互作用の理解をより深めるために、薬物相互作用の基礎知識とその機序・頻度を簡単にレビューする。

さらに、サプリメントと医薬品との相互作用例(GFJ、SJW、イチヨウ葉エキス、アガリクスエキス、ザクロジュース、プロポリスエキス、ガバ葉ポリフェノールなど)、その発現機序、マネジメント等について、文献ならびに演者の基礎研究結果を基にして紹介する。

最後に、サプリメントの適正使用を目指す上での私見を述べたい。

共催

日本薬学会第125年会

株式会社ファンケル